



桐生市役所新採用職員研修へ協力

今年9月、桐生市の新入職員研修の一環として鳴神山登山が計画され、カッコソウ協議会がこの研修に協力しました。当日は鳴神山に登りカッコソウ移植地などを案内する予定でしたが、天候不順のため登山は中止し、観察の森で桐生市の自然環境やカッコソウ保全に関する講義などを行いました。

- * 日時：平成28年9月29日(木)9時~15時
- * 参加者：桐生市新採用職員45名
- * 場所：桐生自然観察の森

自然観察の森の寺内所長によるカッコソウや桐生の自然環境についての講義、齋藤事業運営部会長によるカッコソウ協議会についての講義を行いました。午後には、園内の散策を行い、カッコソウ移植地を見学しました。



カッコソウ移植地の見学(観察の森)

本研修を通して、桐生市職員が、桐生市の自然環境やカッコソウに関して知識を得てくれたのではと考えています。これま



カッコソウの理解が深まりました

で、一般の方対象の啓発活動は実施してきましたが、桐生市職員を対象とした啓発は初めての試みとなりました。来年度以降もこのような研修ができるよう働きかけを行っていきたいと考えていますので、ご協力よろしくお願いたします。

新里中央小学校で環境教育を実施

地域の環境を考えるきっかけになるよう、昨年度に引き続き桐生市の自然環境とカッコソウ及び新里のサクラソウに関する環境教育を行いました。

- * 日時：平成28年10月13日(木)3時限目 10:55~11:40(45分間)
- * 参加者：65名(4年生児童61名、教諭4名)
- * 場所：新里中央小学校視聴覚室
- * 講師：桐生自然観察の森 石井智陽

カッコソウを知っている生徒は数人でしたが、まとめとして、カッコソウやサクラソウなどの生き物がなくならないためにはどうしたらよいのか?との質問には、「看板を設置する」、「ハチを増やす」、「ネットで知ってもらう」といった多数の意見があり、授業を通して、カッコソウに興味を持ってもらうことができたものと考えています。学校教育への啓発活動は、大変意義のある事業ですので、実施の機会を増やしていければと考えています。



カッコソウとサクラソウの違いを学習しました

お知らせ

1. カッコソウパネル展示

市民の皆様にカッコソウを知っていただくため、新たに啓発用のパネルを作成しました。今年度は、鳴神山のふもとの地域の公民館2か所でパネルを展示しました。ぜひご覧ください。

- 1) 場 所：川内公民館（桐生市川内町5丁目17番地）
期 間：平成28年11月28日（月）～12月9日（金）
開 館：平日午前8時30分～午後5時15分
- 2) 場 所：梅田公民館（桐生市梅田町2丁目11番地の1）
期 間：平成28年12月12日（月）～26日（月）
開 館：平日午前8時30分～午後5時15分



2. 自然史博物館の特別展に参加予定

群馬県立自然史博物館で行われる予定の特別展にカッコソウに関する展示で参加します。この特別展は、地域の自然保護団体や自然調査に携わる団体の活動紹介や調査についての展示を行うもので、毎年実施されています。カッコソウ協議会では、今年度初めて参加をする予定です。また、この特別展と同時に行われる保全シンポジウムには、斎藤事業運営部会長が発表者として参加し、カッコソウや協議会に関する活動報告を行う予定となっています。皆様もぜひご参加ください。

- ＊ 特別展：「ぐんまの自然の「いま」を伝える」
期 間：平成29年1月14日（土）～2月19日（日）※休館毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
- ＊ 保全シンポジウム：平成29年1月29日（日）13時～16時
- ＊ 場 所：群馬県立自然史博物館（所在地：群馬県富岡市上黒岩1674-1）

3. 今後の予定

昨年度購入した人工気象器を用いての発芽実験や、遺伝子解析を行い、カッコソウの保全に向けた活動を中心に行う予定です。

カッコソウ定期の取扱い開始



桐生信用金庫は、平成28年11月1日から、「カッコソウ定期」の取扱いを開始しました。この定期預金は、昨年度に引き続き発売されるもので、販売額の0.01%分をカッコソウ協議会にご寄附いただけることとなっています。今年度は、全ての支店で販売を行っており、カッコソウ定期をご契約いただいた方、先着3,000名様に「オリジナルクリアファイル」のプレゼントがあるとのことです。

※桐生信用金庫では、平成27年2月に桐生市及び桐生商工会議所と3者で締結した「包括的連携協定」の協力分野の一つである「地域の環境保全」への取組みとして、販売総額の0.01%相当額を桐生信用金庫が拠出しカッコソウ協議会に寄附するカッコソウ定期を平成27年から発売しています。